

タイトル	グリザイユによる油彩画 自画像			
学校名	千葉県立松戸六実高等学校	美術	氏名	中田 誠
教材費	約1500円		実施時間数	10 時間

1. ねらい

3年生の美術の選択科目は、進学でデッサンが必要になる生徒を対象とした授業を行っている。1学期は基礎デッサンを中心とした授業だが、2学期に入ると、希望の専門分野に合わせてデッサン以外でも題材を設定して制作している。

その題材のひとつ、グリザイユ技法を使った油彩画自画像の制作を紹介する。

グリザイユとは、明暗を白黒の絵具でモデリングし、その絵具が乾燥してから樹脂油で溶いた絵具を薄く重ねて彩色する油彩画の技法である。授業ではモノクロームの色で描いたあと透明に色を重ねて描くことはしないで、不透明に絵具を置いていく。

この制作を通して色調を正しくとらえることを学ばせたい。

2. 材料

6号キャンバス、卓上鏡、筆、紙パレット、ペインティングオイル、テレピン、タオル雑巾、油絵の具

3. 展開（時間）

(1) 作品鑑賞 （1時間）

ファン・アイク、カラバッジョ、レンブラント、ラ・トゥール、フェルメール、アングル、コロネなど、ルネサンスから近代までの油彩画の光の表現をスライドで鑑賞する。



(2) キャンバス張り・地塗り （1時間）

キャンバスを張り、褐色の絵具で下塗りを行う。油性・速乾性地塗り絵具 **QUICK BASE UMBER**（ホルベイン社）を使うことが多い。今回はバーントシェンナをテレピン油で薄く溶いたものを塗布した。

この褐色の地塗りをすることにより、その上に描いた明暗の調子がわかりやすくなる。



(3) 下描き （2時間）

机に卓上鏡を置き、下塗りが乾いたキャンバスに、鉛筆で顔をデッサンする。

画用紙にデッサンした顔をトレーシングペーパーに写し、裏面を鉛筆で黒く塗りキャンバスに転写しても良い。

完成したデッサンにフェキサチーフをかけて、鉛筆の線を定着させる



(4) グリザイユ (3時間)

黒の絵具を使うと画面全体が沈んだ色調になるため褐色のローアンバーを使う。白の絵具はパーマネントホワイトを使い、この2色を使いモノクロームで描いていく。

・骨格をよく確認し、正しい形をとらえる。光の方向や、あごの下の反射光などを良く観察する。

(5) 彩色 (3時間)

モノクロームで描いた絵具が乾いてから、明るさや色を良く観察して、有彩色で描き進める。

・絵具を樹脂油で溶いて透明に色をつけていくと、沈んだ色になるのでこの方法は使わない。

・ある程度描き進んだところで、背景に中間の明度になるよう色をつける。

・必要に応じて、影になる部分に寒色系色のテールベルトを使う。

・豚毛の筆以外にも水彩用の彩色筆や、細かな部分には面相筆を使う。

4. 指導上の留意点

この授業は自由な色で表現する自画像の制作ではなく、対象の正しい色調をとらえることがねらいなので、絵具は色数を限定して制作する。今回使用した絵具は次の通り。

明	白色	パーマネントホワイト
	黄褐色	ローシェンナ
	赤色	カドミウムレッド
	赤褐色	バーントシェンナ
	灰褐色	ローシェンナ
	灰緑色	テールベルト
暗	(黒)	アイボリーブラック・ピーチブラック

・オイルはペインティングオイルをテレピンで希釈して使う。

5. 資料・参考文献

- ・油彩画の科学 寺田春式 三彩社
- ・美術の窓 2010年4月号 顔の描き方技法講座 vol.18
「塩谷亮・触りたくなる肌の表現」

